

平成27年第4回燕市議会定例会  
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
12月10日 (木)	午前	1	長井由喜雄	議員		○
		2	渡邊雄三	議員		○
	午後	3	大原伊一	議員	○	
		4	白井丈雄	議員	○	
11日(金)	午前	5	樋浦恵美	議員		○
		6	堀勝重	議員		○
	午後	7	山本知克	議員		○
		8	中山眞二	議員		○
		9	藤井秀人	議員		○
14日(月)	午前	10	土田昇	議員		○
		11	齋藤信行	議員	○	
	午後	12	タナカ・キン	議員		○
		13	山崎光男	議員		○
		14	柳川隆	議員		○
		15	小林由明	議員		○
15日(火)	午前	16	山崎雅男	議員		○
		17	宮路敏裕	議員		○
	午後	18	吉田勝利	議員	○	
		19	大岩勉	議員		○

平成27年第4回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	長井由喜雄(一問一答方式)	1. 行政改革の視点からのペーパーレスとIT化について	(1) ペーパーレス化の認識について	①新庁舎移転後、一部を除き庁舎内に部・課が集中し、様々な効率化がはかられた一方、スペース的にギリギリな設計の中で日々作られる文書量は想定外に多くなっているのではないかと。情報を「紙」に依存している状況の中で、その量・金額はどう推移しているのか。また現状のままとして文書保管は今後も十分確保できる状況なのか。市として「ペーパーレス化」という問題をどのように考えているのか伺う。
		(2) IT化について	①ペーパーレス化と一体の取り組みとして、全国ではIT化が取り組まれている。自治体ごとにまだまだ大きな取り組みの差があるとはいえ「IT化」を課題としているところが多くなっている。県内でもすでに実践に踏み込んだ自治体、検討中の自治体もあると聞いているが、燕市としてもIT化に早急に取り組んでいくことが必要ではないかと思うが、どのような認識でいるのか伺う。	
		2. 非正規職員の処遇改善について	(1) 非正規職員の待遇と処遇の改善について	①非正規職員は対正規職員比としても実数としても増加の一途をたどっているのが現状ではないか。年次有給休暇の繰り越し、付与日数などもようやく法に基づいて改善されたところもあるが、実際の年次有給休暇の取得状況の現状はどうか。正規職員との対比、部・課ごとの現状について伺うとともに全体としての処遇改善についての考えも伺う。
		3. 特養建設と介護人材確保について	(1) 特別養護老人ホーム100床の建設については「多床室」としていくべきではないか	①第6期介護保険事業計画には特別養護老人ホームの100床の建設も盛り込まれている。早期の建設が求められるところではあるが、国が進める「個室」を条件とした建設では利用者および利用料を支える家族の負担はとて大きい。国は今春から多床室の利用についても総額で約2万円の引き上げを行い、利用者の負担を増加させてきた。それにしても個室と多床室ではその利用差額は大きなものであり、「多床室」として建設されることが望まれる。保険者の考えについて伺う。
		(2) 介護人材確保について	①燕市内の介護施設における介護人材就職・離職の状況はどうか。資格と収入という点で「介護福祉士」の資格取得は介護職として必須のものとなると思うが、全国的な例を見ると資格取得に自治体として支援するところも生まれており、資格取得に支援をしながら市内施設での就労を一定の条件として行くことも一つの条件として有効ではないか。介護職を確保していくために保険者としてどう考えるか伺う。	

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
2	渡邊雄三 (一問一答方式)	1. 安心・安全なまちづくりについて	(1) 道路の改修と危険箇所の掌握について	①通学路安全対策について伺います。(凍結期間を含めて) ②高齢者にやさしい道路整備について市の考えを伺います。 ③以前、通信機器を活用した市民協働の安心・安全なまちづくりを提案したが、その後どのような検討がされたのか伺います。
			(2) 地域での支え合い活動について	①市内4ヶ所で開催しているが平成26年度、平成27年度直近の実績について伺います。 ②地域支え合い活動の地域・高齢者への周知の方法について伺います。 ③今後、市内全体に地域支え合い活動を展開する必要があると思うが考えを伺います。
		2. 市民の健康管理について	(1) 健康づくりマイスターリー運動について	①平成26年度、平成27年度の実績と、今後の取り組みについて伺います。 ②抽選会で実施したアンケート調査の結果に対する分析について伺います。 ③健康づくりで得たポイントを福祉施設・保育園等に寄付できる仕組みづくりを提案したいが考えを伺います。
			(2) 成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種について	①平成26年度対象者の人数と未接種者の人数を伺います。 ②定期接種の対象者への周知の方法について伺います。
3	大原伊一 (一括質問方式)	1. 基幹病院の問題点と燕市における今後の医療体制について	(1) 基幹病院の候補地について	①県央地区で一番水害に弱い地区であるが排水対策は、当然県が責任を持って行うものと考えますが市長の考えを伺う。 ②中ノロ川の白根地区が破堤の危険がある場合、国から排水機場の停止命令が出るが基幹病院設立後は、200ミリを超えるような豪雨になっても排水機場の停止をしない事が出来るのか。 ③今回の選定に当たり、排水を管轄している燕市から排水の問題、道路渋滞の問題などを県に対して資料を提出しているのか。 また、県は、県央基幹病院整備基本計画策定委員会において、燕市からの資料を基に議論が行われたのか確認できているのか。 ④県に対して県央基幹病院整備基本計画策定委員会に提出した全資料と議事録の請求をすべきと考えるが、如何か。 ⑤基幹病院設立が平成30年台前半と県は約束しているが、困難があろうとも必ず開業する事を約束させるべきであると思うが市長の考えを伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	大原 伊一 (一括質問方式)		(2) 基幹病院設立後の燕市における医療体制について	①基幹病院設立と共に労災病院の閉鎖が行われると思うが、8万人の本市に複数の診療科を持ち、入院施設が充実している病院が県立吉田病院だけの体制で十分なのか。このままでは、基幹病院が出来る事で燕市が医療過疎地になる危険性を訴える市民の声があるがどのように考えているのか。
		2. TPP(環太平洋パートナーシップ)が大筋合意し政府のTPP対策大綱も決定したが本市産業に対する影響について	(1) 本市産業に対してTPPに伴う新たな展開が必要になるのか	①政府に於いては、TPP大筋合意に基づきTPP対策大綱を25日決定したが、本市は、中小零細企業が多くTPPの恩恵をいち早く取り入れ本市産業の更なる活性化に向けた独自の対策が求められてくると考えるが、どのように考えているのか。
			(2) 本市農業に対しての影響と今後の対策について	①我が国の農業全体としてTPP大筋合意により大きな影響を受けるものと考えられる。本市農業は、稲作を中心に農業生産がなされているが現状として高齢化による経営の硬直化や新たな展開がなかなか望めないなど弊害が多く見受けられる。 若者の就農を推進し、希望の持てる産業へと抜本的な改革の推進が求められている。 本市農業をTPPの恩恵を受けられる体制へと変革のチャンスでもある。 新たな独自のTPP対策を打ち出す考えは、あるのか伺う。
4	白井 文雄 (一括質問方式)	1. 環境政策について	(1) 空き家・空地対策について	①対策室を設置してから9カ月経過するが、空き家、空地は解消しているのか。また、市は所有不在家屋等には積極的に民事介入して解決すべきと思うがそのスタンスは。固定資産の優遇措置対策は手付かずのようだがどうするのか。 ②法整備をしたうえでの市の責任体制はどう考えているのか。 ③行政代執行の現状と代執行のスピード感を持ってはどうか。 ④前項に基づく市独自の条例等の見直しは可能か。可能であるならば早急に見直しはどうか。 ⑤所有者確認等の実態調査は現実的に機能しているのか。単なる把握確認だけとなって実効はあるのか。また、条例に即した所有者の管理義務は果たされているのか。周知は徹底しているのか。 ⑥所有者不明等の家屋に係る解体費用はどれくらいを見込んでいるのか。
		2. 土木行政について	(1) 道路問題は消防・救急体制に対応してるか	①道路の狭隘 <small>きょうあい</small> は山間地域や市街地の密集地で確認できるが、道路拡幅は防災の観点からもどのように考えるべきか。 ②今の道路拡幅の現状と今後の対策は。 ③山間地域や市街地の住宅密集地での道路整備は現状で満足しているのか。用地買収は必要でないのか。 ④道路拡幅の予算的な位置づけはどのように考えているのか。

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
5	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 定住促進について	(1) 「市オリジナル婚姻・出生届」の作成について	①本年4月より婚姻・出生届を提出する際に、記念撮影とお祝い状の交付を行うサービスを市民課窓口で開始されたが、市民の反応について伺います。 ②燕市に愛着を持ち、将来的には定住促進に繋げていくためにも、「市オリジナルの婚姻・出生届」の作成を提案したいが、考えを伺います。
			(2) 地域おこし協力隊について	①燕市では、国上地区で活動する「地域おこし協力隊」の募集を10月1日より開始し、募集期間は来年1月31日まで、募集人員は1名としている。 募集に対する周知の方法や募集状況について、どのようなになっているのか伺います。 ②任期後も燕市に残ってもらうことは最終目的であり、隊員が無理なく地域に溶け込み、定住の流れが加速するよう、受け入れ態勢の強化に取り組むことが大事だと思うが、考えを伺います。
		2. 子育て・教育環境の充実について	(1) 切れ目のない子育て支援について	①「切れ目のない妊娠・出産相談支援の体制づくり」として、本年度から健康づくり課に『育み相談コーナー』を開始されたが、利用状況や課題について伺います。 ②妊娠中の不安や子育ての不安をいつでも安心して相談できる体制づくりが必要であると思うが、考えを伺います。
			(2) スポーツ施設の維持管理について	①平成27年度施政方針に「市民の誰もが体力や年齢、目的に応じて、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しむことのできる環境の整備に努め、『生涯スポーツ社会』の実現を目指します」とある。 そのためには、スポーツ施設の維持管理が重要になってくると思うが、考えを伺います。
6	堀 勝重 (一問一答方式)	1. 学校教育現場における青少年の健全育成について	(1) 中学校における運動部活動について	中学校における運動部活動は、学校教育の一環として、スポーツに興味と関心を持つ同好の生徒の自主的、自発的な参加により、顧問の教員をはじめとした関係者の取り組みや指導のもと行うものであり、各学校で多様な活動が行われ、独自の発展を遂げてきたものであると捉えております。 現在、中学校で数多くの生徒が運動部活動に参加しており、生徒の心身の育成と豊かな学校生活の実現に大きな役割を果たし、様々な成長をもたらしているものであると捉えているところであります。 そこで、 ①部活動の終了時刻について ②部活動の休養日等の現状について ③担当顧問の決定基準について ④顧問及び副顧問不在時の対応について ⑤部活動における体罰等について ⑥部活動の果たす役割等について ⑦今後の取り組みや対応について 教育委員会の考えをお伺いします。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
6	堀 勝重 (一問一答方式)		(2) 中学校内におけるスマートフォンの使用について	<p>昨今、スマートフォンが普及し、中学生、高校生のほとんどがスマートフォンを持っている状況であります。それに伴い、中学校においても、インターネットの世界でいろいろなトラブルが発生している状況になっていることも現実であります。その根本的な原因は、私が思うに、残念ながら、子供たちや一部の大人に「想像力」が欠如しているのではないかと考えているところであります。ツイッターやLINEでこんなことを言ったら、またブログでこんなことを書いたら、こんな結果になる。メールでこんな内容を出したら、受け取った人が嫌な思いをするだろう。つまり、先のことを予測する力、「想像力」がかけているためにいろいろな問題が起こっていると考えているところであります。</p> <p>また、インターネットは様々な人が利用しており、中には、いろいろな価値観、物の考え方を持っている人がいると思われれます。従って、自分がインターネット上に発信した情報がどのように捉えられているか、どのような影響を与えるか考えることが重要であり、それを予測して使用していくことが大切なことであると考えているところであります。</p> <p>そこで、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①校内におけるスマートフォンの使用状況について</li> <li>②スマートフォンの取り扱いについて</li> <li>③スマートフォンにおけるLINEによるいじめについて</li> <li>④今後のスマートフォンの取り扱い等について</li> </ul> <p>教育委員会の考えをお伺いします。</p>
		2. 地場産業について	(1) 海外進出の取組みについて	<p>今年の9月に、食をテーマとした「2015 ミラノ国際博覧会」に、地場産業振興センター理事長である鈴木市長が出席され、日本館に設けられたイベント広場で、「燕三条」として、車麩・日本酒の試食及び鎚起銅器イベント、障害者向けカトラリーの紹介等を行い、また、地域PRのスピーチを、鈴木市長がステージで1日に3回されたと聞いております。</p> <p>こういった積極的な取組みについて一定の評価をするものであり、また、地場産業の更なる発展の為に、より充実した施策の展開を望むものであります。</p> <p>今回のイベントの実績を踏まえ新たな展開として、今後は農産物等も含め、より幅広い取組みをして行くことも、重要ではないかと考えているところであります。</p> <p>そこで、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①今後の海外出展における支援や施策の取組みについて</li> <li>②今後の海外進出において、商・工・農の連携について</li> </ul> <p>市の考えをお伺いします。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)	
7	山本知克 (一問一答方式)	1. 介護保険計画の中で	(1) ケアパスについて	<p>第6期介護保険事業計画からも住み慣れた地域でいつまでも生活していくためにも認知症予防とケアパスの作成、社会資源の活用が求められている今日ですが、本年6月議会でも答弁のあった、介護保険計画による総合計画の中で、ケアパスを作成し、年度内にガイドブックを発行するとなっているが、進捗状況や問題点について伺う。</p> <p>①標準的な認知症ケアパスの作成・普及。 1) 認知症の状態に応じた適切なサービスの提供。</p> <p>②早期診断・早期対応。 1) かかりつけ医の認知症対応力の向上。 2) 「認知症初期集中支援チーム」の設置。</p> <p>③地域での生活を支える介護サービスの構築。 1) 医療・介護サービスの円滑な連携と認知症施策の推進。</p> <p>④地域での日常生活・家族の支援の強化。 1) 認知症に関する介護予防の推進。</p>	
			(2) 包括支援センターについて	<p>日常生活圏で地域における、介護相談の最初の窓口となる地域包括支援センターの業務内容について、高齢者をとりまく「環境変化や制度の改正」増え続ける高齢者や家族に、現状のままの体制で運営に問題がないか伺います。</p> <p>①包括支援センターについて。 1) 活動の市民への周知化について。 2) 今後増加するサービスに対して人員数は適正か。 3) 4ヶ所の包括支援センターで不足はないのか。 4) 介護保険に関する業務の分担化は。 5) 地域ケアを進めるうえでの問題は。</p>	
		2. ライフワークサポートについて	(1) ニーズについて	<p>「介護予防と日常支援ガイドライン」を参照すると、統計では平成25年度に60歳以上の高齢者の64%がなんらかのグループ活動に参加経験があり、困っている人や世帯への手助けをと考えておられる方も少なからずおられるとあるが、現状では、介護保険でも居室の掃除や洗濯、食事作りや服薬管理などが認められているものの対応できない場面も多くあります。</p> <p>①高齢者世帯から、買い物支援や通院支援、除雪や家屋・庭の掃除などが望まれるなかで、市民からの要望をくみ取るために燕市では市民の要望をどのような形でニーズを受け入れていくのか、考え方を伺います。</p>	
			(2) サポーター養成と組織化について	<p>①今後「ライフワークサポート」の需要が高まることを考えると「生活支援要請サポーター養成」と組織化が急務と思われるが、現在は団体数も少なく市民への周知も不足している。市民に対してのPRを含めた援助の必要があると思うが考えを伺います。</p>	
					(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	山本知克 (一問一答方式)	3. 健康づくりについて	(1) 健康づくりマイストーリー運動の発展について	<p>②社会福祉法の中に位置づけられた公共性の高い民間の福祉団体でも、独自にボランティア・サポーター養成講座を開催されているが、広がり不足していると思われる。</p> <p>全国的にも人材の育成や啓発が望まれ、教育委員会や民間団体連携の、高齢者生活支援サポーター養成講座が開かれている。</p> <p>修了者の多くは、ボランティアやNPOで活躍されているとも言われており、一億総活躍ともいわれる中で、アクティブシニア層にも活躍していただくためにも、伴う組織づくりが大切と考えられる。対象講座等の開催が必要と思うが、考え方について伺います。</p> <p>①健康意識を持つ市民や高齢者が増え、要支援、要介護状態になることを予防している、日々の運動で病気「生活習慣病」を減らすにはとても良い取り組みなので、多くは健康づくり課や社会福祉協議会、ボランティアスタッフの協力の結果だと思うが、健康づくりマイストーリー運動の発展のため、今後の考え方について伺います。</p> <p>②年代別にみると健康に興味を持ち始めるのは50歳以降になると思うが、生活習慣病の予防のことを考慮すると30代40代からの意識作りから大切になると思われる。</p> <p>佐賀県鳥栖市では「うららトス21プラン」により、全年齢対象で小学生から食や生活習慣について取り組まれているが、当市でも健康づくりマイストーリー運動に取り入れてはどうか伺います。</p> <p>③市長のブログでも、燕市は肥満の割合が県内で上位となっているとあるが、自分に合った健康づくりを考えるきっかけとして、本年9月に北折一NHKためしてガッテン元専任ディレクターによるダイエットに関する講演も大盛況で、メタボに関する知識もずいぶん認知され、健康意識向上に大きく貢献している。</p> <p>生活習慣病の予防の為にも、メタボマイスターを取り入れてはどうか伺います。</p>
8	中山真二 (一問一答方式)	1. 予算について	(1) 余った予算の使い方に裁量権はどこまで認められているのか	<p>①予算範囲内とはいえ入札結果などによって余ったお金の使い道に対し、担当部局はどこまで予算の使い道に裁量権があるのか聞きたい。</p> <p>②議会への報告の義務はないのか。議会のチェックは必要ないのか。</p> <p>③入札などで余った予算で行った追加工事は議会にどのように報告されていたのか伺う。</p> <p>④不用額としてあげて補正対応が良いのか、余ったらできるだけ要望に応じて工事を追加していく方が良いのか、どのような判断基準で行っているのか考えを聞きたい。</p> <p>⑤余った予算に対し、財政担当は担当部局に対しどのように対応しているのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
8	中山 眞二 (一問一答方式)	2. 基幹病院とまちづくりについて	(1) 県央基幹病院の位置決定に伴う影響について	① 労災病院と県立吉田病院は今後どうなるのか。 ② 須頃へのアクセス道路について。 ③ 都市計画道路の変更が検討されていてパブリックコメントを多くいただいているがそれに対しての影響はないのか。 ④ 今後の国県への要望について。
			(2) 公設民営について	① 建設される前段階や建設後の運営に市は積極的に意見参加できるのか。
			(3) 都市計画に及ぼす影響は	① 市全体の都市計画に影響はないのか。 ② 三条地籍の決定に対し、ガス水道への影響、交通量や人の流れへの影響をどのように考えているのか。 ③ 今後三条市と連携した県央のまちづくりが重要視されると思うがそれに対する対策をどのように考えているのか。
		3. 地方創生事業について	(1) 地域振興券・ふるさと割りについて	① 地域振興券、プレミアム商品券・ふるさと割の利用状況はどのくらいか。 ② 使われなかった分の扱いと今後の周知について。
		4. ふるさと応援寄付金について	(1) ふるさと応援寄付金について	① 返礼品はどのように評価されているか。 ② 礼状やリピーター確保をどのようにしているか。 ③ 寄付金は寄付者の要望通りに使われているか。またその報告はどのようにしているのか。 ④ いただいたふるさと応援寄付金と燕市から出て行ったふるさと応援寄付金の財政上の扱いについて。
		5. 指定管理について	(1) 指定管理によって施設管理はどのように変化したか	① 多くの施設が指定管理されている、今後も指定管理される施設が増える傾向にあるが、指定管理のメリットやデメリット、またどの施設が指定管理されているのかが市民にまだ伝わっていないように思う。指定管理された施設のメリットデメリット、指定管理者の評価をしっかりともらえるためにさらなる周知が必要と感じる、その評価と周知方法について伺う。
6. 防災について	(1) 南一丁目の火事と一人暮らしや認知症について	① 犠牲者が出たことや多くの家が消失した理由をどのように分析しているか。 ② 一人暮らしの老人の世帯や、認知症の一人暮らしの世帯を把握しているか。 ③ 今後の対策は。 ④ 空き家対策として、取り壊した空き家が防火対策に有効なら固定資産税の減免を続けることはできないか。		
9	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 市長の考え方について	① 市長は、燕市の現在の経済状況をどのように感じられているのか伺いたい。 ② 一般会計及び特別会計の不納欠損額の合併当時、5年前の数字を伺いたい。 ③ 不納欠損の発生の傾向として、どのような状況があるのか伺いたい。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	藤井 秀人 (一問一答方式)	2. 福祉について	(1) 認知症について	①市内に重度の認知症の方と、若年性認知症の方はどれ位の数の方がいらっしゃるのか。また、増加の傾向にあるのか伺いたい。 ②重度の認知症の方を避難行動要支援者名簿に載せるべきだと考えるが、いかがか伺いたい。 ③認知症で行方不明になられた方は、市内でどれ位いらっしゃるか伺いたい。 ④行方不明になられたときの支援態勢は今どのようなになっているのか伺いたい。
			(2) 認知症対策について	①国は認知症も含め「全世代対応型地域包括支援センター」といった総合相談窓口を整備することが必要であると言っているが、当市の取り組みについて伺いたい。 ②認知症に対する早期発見の必要性を感じるが、当市での手だては行っているのか伺いたい。
			(3) 生活保護世帯数の変化について	①生活保護世帯の合併当時、5年前の数字を伺いたい。
10	土田 昇 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 2016年度の予算編成について	①2016年度予算の重点政策についてどのように考えているか伺う。 ②合併以後、市道の傷みがひどく市民の方々から苦情が多く寄せられているが、来年度予算の増額で改修が強く求められると思うが、どのように考えているか伺うと同時に生活排水の問題でも同じことがあると思うが、市長の見解について伺う。
		2. 農業問題について	(1) TPPの「大筋合意」は「最終合意」ではないが	①10月5日にTPP交渉が「大筋合意」されたと報道されたが、その「大筋合意」の内容は、農産物重要5品目(コメ、麦、牛肉、豚肉、乳製品、砂糖等)については関税撤廃の例外とすると国会で決議していたが、コメについては新たに、アメリカから7万トン、オーストラリアから8,400トン、合計7万8,400トンを無関税枠で設定したり、牛肉や豚肉の大幅な関税削減等々で「大筋合意」の内容が明らかになる中で、農家の中では、現在でもコメが過剰になっているのに、なぜ必要もない、コメをアメリカから入れるのか、そうでなくてもミニマムアクセスのコメが77万トンも入っているのに、米価がまた下落して今後どうすればよいのか新たな困難に直面しています。このTPPの「大筋合意」については、国会決議違反と思うが、市長の見解について伺う。 ②TPP対策として、国は耕作放棄地の固定資産税を現行の1.8倍に引き上げる方向で検討しているが(早ければ2017年度に実施の予定)新潟県内の耕作放棄地は1万ヘクタール余りと報道されているが、燕市の現状はどのような状況か、市長の見解について伺う。 ③TPP対策として農水省は、農家から拠出金を集め、保険制度の創設を検討しているが、農産物の価額の下落にどれだけ対応できるのか不安の方が大きい、この問題についてもどのように考えているか、市長の見解について伺う。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
10	土田昇 (一問一答方式)			④TPP 対策として、企業による農地保有規制の緩和を検討しているが企業は「利益が出ないと撤退する」のではないかと大きな不安が根強くあるが、この点についても、市長の見解について伺う。
		3. 国保税の問題点について	(1) 保険者支援金の内容は	①3月議会でも取り上げた国民健康保険税の問題ですが、今年の5月27日に国民健康保険法の改定で、2018年度より県が保険者になることが決まりましたが、この都道府県化で全国知事会が保険者になるための条件として、国保の財政上の構造的な問題の解決を要求して、保険料負担を下げるために1兆円の国保負担が必要と主張して、国と全国知事会、全国市長会と協議して、国が年3,400億円財政支援することで協議がまとまり、このうち1,700億円が「低所得者対策」として各保険者に配分される予定になっているが、燕市の金額と配分方法について伺う。さらにこの保険者支援金に該当する世帯についてはどのような状況か伺う。 ②燕市の国保の実態について伺う。(平成24年度～26年度まで) ・燕市の実質収支 ・燕市の単年度経常収支 ・燕市の被保険者数 ・燕市の1人当たりの保険料(医療分だけ) ・燕市の基金の保有額 ・燕市の収納率と滞納金額 ・燕市の資格証の件数 ・燕市の短期証の件数 ・燕市の現在最高額に達している件数
11	齋藤信行 (一括質問方式)	1. 市民活動について	(1) 市民活動の燕市の内容について	①周南市では市民参画条例の概要または市民活動支援センターなどをオープンし、または地域づくり推進課などをつくり、市民活動の支援または、市民への広報活動に力を入れているが市の活動を伺います。 ②市民活動に関する保険制度について伺います。
		2. 農業問題について	(1) チャレンジファーマーについて	①チャレンジファーマーの今年度について伺います。 ②チャレンジファーマーの来年度について伺います。 ③チャレンジファーマーの今後を伺います。
			(2) 農業に対する支援について	①農業に対する支援をチャレンジファーマー以外に考えているのか伺います。
12	タナカ・キン (一問一答方式)	1. ふるさと燕応援寄付金について	(1) 現状と今後について	ふるさと燕応援寄付金事業が好調である。27年度の上半期(4～9月)は約2億円で県内1位であった。 ①26年度は年間で6,012件で1億2,624万200円であったので、年間ならどれ位になるか楽しみである。増額になった理由について、取り組みも含めて伺う。 ②また、上半期の件数は8,112件とこれも相当な数である。出荷だけでも大変な作業だと思う。申し込みから出荷までの流れについて伺う。  (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
12	タナカ・キン (一問一答方式)			③総務省の調べでは、燕市は上半期県内1位であるが、全国では48位であった。昨年、約14億円で全国1位だった長崎県平戸市は27年度の上半期は、現在4位で9億6380万7000円と、引き続き好調でどこまで伸びるかわからない。メディアにも相当取り上げられているが、他市に無い工夫もされている。先進地の事例を参考にされているか。
		2. 公共施設の設備について	(1) 文化会館の設備について	<p>①先日、展示ホールで開催されていた絵画の展覧会を観に行った時のことである。壁側のピンスポットが一列全てつかないという苦情を受けた。展示ホールは有料である。市民が利用する期日前には点検が必要であると思うが。</p> <p>②また、この展示ホールのパネルは可動式となっていてパネルの設営は慣れないとなかなか難しい。この可動式のパネルも市の担当者が設置するか、利用者と協力してするか、検討してはもらえないだろうか。</p> <p>③文化会館内にある障がい者用トイレは、使用後はレバーを下げる一般的なものでなく、排水管の一部を押すと水が流れるという古いタイプのものである。また、便座のすぐ横には気分が悪くなった時の為のボタンがあるが、このボタンを水を流す為のボタンと勘違いして押すケースが後を絶たないという。こういう所の改善も必要だと思うが。</p>
			(2) 他の施設について	①市内の公共施設で、現在もなお洋式トイレが無い施設はどれ位あるか。
		3. 肺炎球菌感染症の定期接種について	(1) 肺炎球菌感染症の定期接種について	<p>最近、肺炎球菌の予防接種を促す様なTVコマーシャルや新聞広告を目にすることが増えた。</p> <p>①公費助成が受けられても自己負担額は4,640円と決して安くはない。公費助成が無い場合の金額について伺う。</p> <p>②制度の対象となるのは1人1回限りで、過去に接種を受けたことがある人は対象外ということである。昨年からは始まったもので平成30年度まで実施される。ということは昨年度60才以上の方が対象であるが、燕市で昨年60才以上の市民は何人か。そのうち、これまでに接種を受けた人数を把握しているか。</p> <p>③このワクチンは全ての肺炎を防ぐものではないとのことだが、どれ位の効果が期待できるのか。</p>
		4. 旧燕工業高校跡地活用について	(1) 応募者の提案と選考について	<p>①応募者の提案は市が満足できるものであったか。</p> <p>②選考はプロポーザル実施要項に基づき行われたか。</p>
			(2) グラウンドの利活用について	①現在、グラウンドを子どもたちがサッカーの練習に利用している。グラウンドを残せば何の問題も無いが、残せない場合には、これに代わる練習場が必要と思うが。

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
13	山崎 光男 (一問一答方式)	1. 活動人口と交流・応援(燕)人口の増加について	(1) 健康づくりマイスターリー運動・つばめ元気がやきポイント事業の拡充について	①昨年度から始まったこの事業に、もっと多くの市民が参加して、健康づくりに関心を持ってもらい、健康寿命の延伸を図るために、現行の抽選方式を見直し、ポイント数に応じて景品や商品券などがもらえるシステムに出来ないか。また健康管理・体と心の健康につながる対象事業としてスポーツ大会など更に増やせないか伺う。
			(2) ゆるキャラ GP きららん順位確定による検証と今後の展開について	①今年初めてゆるキャラ GP にエントリーした燕市のきららは、新潟県では 42 体中 5 位、全国では 400 位という結果に終わった。市長は 100 位以内を目標にしていたが、程遠い順位になったことを受けて、エントリー後どんな広報活動をして市民に投票も呼びかけたか、そして来年度目標を達成するため、現時点で何か戦略はあるか、今回の検証と今後の展開を伺う。
		2. 燕市における人権問題を考える取り組みについて	(1) 「いのち・愛・人権」展の初開催について	①12月4日から10日まで、第67回人権週間に全国で人権問題を考える取り組みが行われた。人権問題は全ての人に関係があり、家庭・地域・職場・学校といった普段の生活にある身近な問題である。新潟県では「いのち・愛・人権」展が1989年から県内の自治体で行われ、27回目となる今年は村上市で開催された。燕市では市民から開催を望む声も多いが、まだ一度も開催されていない。当局の考えを伺う。
14	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 商工観光行政について	(1) 勤労者福祉補助事業について	①昭和48年に燕市内の中小企業に勤務する勤労者等に総合的な福利厚生事業を行うことにより、中小企業勤労者等の福祉の向上を図ると共に、中小企業の振興並びに、地域社会の発展に寄与することを目的としてスタートした本事業はその後、弥彦村も加わり更には10年前の吉田・分水との合併によりその対象企業、対象勤労者の数は格段に増加した。事業スタートの6年後には加入会員数は5千人を超えたがその時の担当職員は1名であった。然るに9月の決算審査特別委員会において尋ねたところ、平成27年3月末現在で加入会員数は8,274人との答えであり、昭和54年時と比べて3,000人程しか増えていない。増加率で4割弱にもかかわらず、担当職員の数も4倍になっており、しかも適正な職員数であるとの答弁であった。その人数が適正であるという根拠を伺う。 ②今年度の補助額12,384千円の使途の明細を伺う。 ③4名の担当職員の役割分担について伺う。 ④4名になったのはいつか。その時の会員数は何名か伺う。 ⑤今後の加入推進事業の計画について伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
14	柳川 隆 (一問一答方式)	2. 図書館について	(1) 図書館の利用状況について	<p>一説によれば GDP が微増微減に推移するようになった約 20 年前からこの国は成熟社会に入ったと言われている。と同時にそのような社会でのライフスタイルも問われるようになった。思うに、そのライフスタイルの核の柱の一つに読書の習慣が身についた人が増えたらいいなどかねてから思っていた。そのことは市長の提唱しておられる「日本一輝く燕市を目指して」にも合致するのではないかと思う。即ち、内面から光ることです。そこで伺います。</p> <p>①いただいた指定管理者が作成している図書館の目次報告書を見ますと、今年度の 10 月迄のトータルを昨年と比べると入館者数、貸出利用者数、貸出利用冊数の 3 項目いずれも昨年より増えている。大変結構なことだと思います。この主な原因は何か伺う。</p> <p>②前記の 3 項目で、7 月・8 月の 2 ヶ月が他の月より突出している。これは子どもの学校が夏休みであるということが大きいということでしょうか、その期間小・中学生向けに特別な企画はどんな事を行っているのか伺う。</p> <p>③秋の読書週間ではどんな特別企画を行っているのか伺う。</p> <p>④県下 30 市町村で、人口 1 人当たりの利用冊数のトップを目指したらいいと思うが、その事に対してどんな考えをもっておられるのか伺う。</p>
15	小林 由明 (一問一答方式)	1. 教育環境の向上について	(1) 学校図書館について	<p>①さらなる学校図書館の機能向上、利用の促進を図るべきと考えているが、学校図書館の今後の展望をどのように考えているか。</p> <p>②子どもたちの知的欲求を刺激するため、多くの図書にふれてもらうことは極めて重要なことであると考えている。空き教室の活用による学校図書館の拡張と図書の充実に取り組むべきと思うがいかがか。</p>
		2. まちの安全安心について	(1) 空地・空き家・空き店舗・空き工場について	<p>①これまでの空地・空き家対策の取り組みを通じて、その成果を上げるためにどのような課題があり、今後なすべきことをどのように考えているのか伺いたい。</p> <p>②空地・空き家・空き店舗・空き工場の利活用促進のための方策をどのように考えているか伺いたい。</p>
			(2) 管理不全建物対策について	<p>①管理不全建物解体後の固定資産税増額分の猶予、もしくは免除の実施は考えられないか。</p> <p>②不動産の維持管理、利活用に対する住民の関心を高めるため、DIY 講座、不動産利活用の事例紹介、司法書士などによる権利関係のワークショップの開催など取り組めないか。</p>
		3. 公共施設の老朽化について	(1) 小中学校のプールについて	<p>①市内小中学校プールは、その維持管理に毎年多くの費用が発生しており、老朽化が進む今後は、さらに多くの費用が発生すると考えられる。プールの維持管理の今後をどのように考えているか。</p> <p>②現在の市民プール以外のプールを閉鎖し、ごみ焼却場建設に合わせその余熱を活用した新しい市民プールの建設を考えられないか。 (次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
15	小林 由明 (一問一答方式)	4. 交流、応援、定住人口増加について	(1) 市民活動と3つの人口増戦略との結び付けについて	<p>①市内でも、住民の手による様々な交流イベント・まちおこしイベントが開催されており、これら住民による取り組みは3つの人口増戦略を効果的なものとする機会となると考えられ、行政が積極的に関わっていくべきものとする考えがいかかか。</p> <p>②全国各地の自治体でも行われている、行政による同窓会の開催支援を、3つの人口増戦略の取り組みの一つとして考えてはいかかか。</p>
16	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 義務教育を受ける児童・生徒の不登校等の諸問題を解消することについて	(1) 児童・生徒の不登校等への対応策について	<p>①直近の本市に於ける不登校児童・生徒の実態と現状分析そして対応策について伺う。</p> <p>②保護者から子どもの不登校等に対する相談内容と件数はどの位なのか。</p> <p>③各学校が常に危機感を持って心の居場所づくり等を考え、学校不登校の未然防止、早期発見・解消に向け取り組むべきであると思われるが、教育委員会と学校現場の児童・生徒の不登校に対しての認識について伺う。</p> <p>④学校生活から様々な活動を通して社会性を身につけ、自分自身・友達等の対人関係に自信を持たせ、自身を育む為の援助や支援は将来の子どもにとっては重要である。適応指導教室等に通っている児童・生徒の現状と支援のあり方について伺う。</p> <p>⑤登校することができない状態にある児童生徒が抱えている心理的・情緒的な問題軽微を図りながら、一人ひとりの自己理解を深める為の支援が重要で心の教室相談員等充実が求められていると思われるが見解を伺う。 また、心の教室相談員等への成果も期待されるが、相談内容と解決に向けての取り組みを伺う。</p> <p>⑥卒業してまでも不登校生徒の責任を持ってないと言われればこれも立場的に止むを得ないが、将来ある燕市民であり社会にとって大きなマイナスで就業しないような状況下になれば、家族、市にとっても痛手となる。 不登校対応の最終目標を子どもたちの将来、精神的・経済的にも自立して豊かな人生を送られるよう社会的自立に向けて、卒業後の生徒への進路調査や支援対策についての所見を伺う。</p> <p>⑦小学校から中学校の学校環境変化についていけず、ギャップとなり自信をなくし落ち込み、結果的に不登校になったと思われる生徒、俗に中一ギャップと言われる実態と解消に向けての小中学校連携の現状と課題、認識について伺う。</p> <p>⑧いじめの現状と撲滅に向けて生徒への指導について伺う。 また、学校や教育委員会はいじめの実態である事実関係をこれまでどのような方法で把握してきたのか伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具体的な内容 (小項目)
16	山崎 雅男 (一問一答方式)	2. 本市の将来に向けての農業取り組みについて	(1) 水田農業の現状について	<p>①農林水産省が発表した2015年の「農林業センサス」によると全国の農業就業人口は209万人で、5年前の調査に比べ51万6,000人減少で平均年齢は0.5歳上昇して66.3歳。新潟県では販売農家農業就業人口は7万9369人となり5年前の調査に比べ19.8%減の1万9,619人減少である。1985年以降30年間で半分以下の現状でもある。平均年齢は66.6歳と前回より0.2歳の上昇にとどまり高齢世帯減少が要因とみられている。本市の農業就業人口と推移、担い手への農地、農地水田集積状況、農業経営規模と販売金額の関係と推移を伺うとともに本市の将来に向けての農業取り組みについて伺う。</p> <p>②水田農業に関する国の政策、制度の動向と経営所得安定対策の制度を活用した場合の農業収入について伺う。</p> <p>③市単独事業のチャレンジファーマー支援事業。補助率、事業費3分の1で上限50万円の複合営農等にチャレンジ販路が見込める農力アップチャレンジ支援。補助率2分の1で上限60万円の規模拡大に伴う水稻直播栽培等に必要な機器導入助成のコスト低減チャレンジ支援の申し込み、取り組み状況について伺う。</p> <p>④環太平洋連携協定(TPP)の大筋合意の動きが背景にあるなかで、企業への農業参入、農地取得の動きが押し迫る今日、机上での論議に思えてならない減反廃止、補助金頼みからの脱しての農業改革等、連日に近いマスコミ等の農業攻撃や財界主導と思われても仕方ない農業成長産業化の名の下での兼業、家族農業等の切り捨て懸念される状況下での兼業農家の割合が多く占めている燕市にとって、国の動向に対してどのように受け止めているのか伺う。</p>
		3. 「分水おいらん道中」行列終了後の見物客の流れについて	(1) より実のある「分水おいらん道中」にすることについて	<p>①信濃川の大河津分水堤防沿いに美しく咲き誇る約3,000本の桜並木。桜季節到来の4月中旬頃には全国でも珍しい「分水おいらん道中」が華やかに繰り広げられる。多い時には約10万人とも言われる県内外からの見物客で賑わうとのことであるが、観光客からより長く滞留していただくには今後どうすべきと思うか見解を伺う。</p> <p>②「分水おいらん道中」行列終了後一斉に大型バス等が、長岡の寺泊魚の市場通り(通称)魚のアメ横通りへの買い物や弥彦への観光で列をなして大移動することに対しての見解を伺う。</p>
17	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 原発事故災害における防災について	(1) 市民の安全・安心確保の施策について	<p>①新潟県広域避難マッチングの説明に基づく本市の避難計画について、計画案策定の進捗状況と課題があればその点について伺う。</p> <p>②避難計画を策定後、30キロ圏内約400人を対象に住民説明会を開催することであるが、全市民にはどのように周知していくのかについて、検討していることを伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
17	宮路敏裕(一問一答方式)	2. 高齢者の保健福祉計画の取り組みについて	(1) 高齢者の見守りについて	<p>③ 柏崎刈羽原発 30 キロ圏内の自治体のなかでは、原子力防災訓練を実施している市があるが、本市においては検討しているのか伺う。</p> <p>① 地域包括支援センターによる高齢者世帯への訪問活動の取り組みについて、現状の問題点や課題についての認識を伺う。</p> <p>② 災害時要支援者への対応やその体制についての現状と課題について伺う。</p> <p>③ 地域ケア会議で情報交換している地域の課題について、どのようなものがあるのか伺う。</p> <p>④ 高齢者の見守りについて 2017 年度から実施の「新しい総合事業」のなかで、どのように位置付けていくのか、検討していることを伺う。</p>
18	吉田勝利(一括質問方式)	1. 産業史料館のこれまでとこれらについて	(1) 産業史料館の史料(資料)の量は燕市産業界の歴史を考えると十分といえるのか	<p>① 平成 27 年度施政方針演説の中の政策 1 新しい活力を創造するまちの②観光の振興のところ、産業史料館の活性化を図るため、各種イベントを開催するなど入館者増加対策を進めるとともに、本施設が所在するのは燕市の表玄関といえる位置にあるから新たな観光交流拠点整備に向けた取り組みを進めるといっております。この施政方針演説が行われました 3 月 5 日からすでに 9 ヶ月になりますが、この間活性化のために取り組んだものはありますか、ありましたら教えてください。産業史料館という以上は、これまでの燕市産業界で生産されてきた多種多様な製品を集めておくことが必要と思っておりますがいかがでしょうか。</p>
		2. 医療費の抑制について	(1) ジェネリック医薬品普及効果と促進について	<p>① 施政方針の政策 3 の①で医療サービスの充実のところで年々増加する医療費の抑制を図るため、これまで取り組んできたジェネリック医薬品の普及促進についてお聞きします。ジェネリック医薬品は後発医薬品のこと、先発医薬品の特許有効期間が消滅したことにより自由に製造販売できることになったものであることから、先発医薬品が長い年月の研究開発とそれに要する費用が大変な金額であったものに比べて薬価が安くなっていることはよく理解できます。ジェネリック医薬品を普及させることは患者負担を軽減すること、そして医療保険財政の改善になることもわかります。市長が政策としてこのジェネリック医薬品の普及促進に取り組まれていることは大変大事なことと思っております。そこでお聞き致します。</p> <p>さらなる促進にはジェネリック医薬品に対して医師や薬剤師がその品質に対する信頼をいかに持っているのかを知りたいと思うがいかがでしょうか。</p>

発言 の 順序	発 言 す る 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
19	大岩 勉 (一問一 答方式)	1. 市長の政 治姿勢につ いて	(1) 平和安全 法成立につ いて	①平和安全法は「戦争を未然に防ぐため」のものであり、国民の平和な暮らしを守るために「スキのない備え」で抑止力を高めることが可能な法案と思うが市長の考えを伺う。 ②日本を取り巻く厳しい安全保障環境と、日本は国際社会から平和協力活動を期待されている事は認識されていると思うが、燕市としても同様な考えなのか伺う。
			(2) 新規施策 を多く提案 されるが成 果を挙げら れなかった 施策の検証 について	①県央基幹病院建設位置案は上須頃地区に決定されたが、なぜ「燕労災病院跡地」案を押し切らなかった訳を伺う。 ②県立武道館誘致失敗は教訓にならなかったのか、東京オリンピックの事前合宿導入に向けて具体的に検証されているか伺う。 ③「ゆるキャラグランプリ 2015」に燕市のキャラクター「きららん」も参加されたが何票得票され何位だったのか、燕市民の参加度はどうだったのか伺う。 ④再生可能エネルギー発電「木質バイオマス発電事業」は考えない方が良くと思うが、電気料金に「再エネ発電賦課金」制度は理解されていると思うが、燕市では同賦課金を1年間でどれくらい支払っているのか伺う。
		2. 教育指導 について	(1) 全国で 2014年度 に起きた小 学校の暴力 行為が過去 最多とある が燕市の現 状はどうか	①文部科学省の問題行動調査では、中学校・高校では減少傾向であるが小学校では急増し、低年齢化傾向の増加現象と報告されているが、燕市の実情と取り組みについて伺う。 ②新潟県教育委員会から暴力行為の報告や指導はあるのか伺う。
		3. 市民交流 センターに ついて	(1) 貸し出し 管理状況に ついて	①燕市教育委員会が管轄している市民交流センターの貸し出し管理状況を伺う。
			(2) 多目的ホ ールなど施 設の利用状 況について	①多目的ホールなど施設の利用状況と、利用者からはどのような感想や意見が寄せられているのか伺う。